

チェックします 28年度決算

議案の質疑討論

質疑

一般会計決算

◆だいせんファンクラブ

〔吉原議員〕毎年大阪と東京と交互に行われている。マンネリ化も感じるし、出席する会員も減ってきている。今後のファンクラブのあり方についてどう考えるか。

〔町長〕大山町のことを思いながら暮らす人

にとって、意義のあることだと感じている。若い年代の会員がほとんどいないということを感じた。どうやったら新しい会員が増えるのか考えながら充実させたい。



新規会員が増えないだろうか

◆観光事業費



勇壮にとどろく僧兵太鼓

〔米本議員〕観光費の支出が多いが、その成果が毎年見えてこない。どう考えているか。

〔観光商工課長〕非常に成果がわかりにくい現状がある。現在1300年祭のイベントに力をそそいでいるので、新しい事業に取り組むということに町も観光局も苦しんでいる。

費用対効果、あるいは成果指標にも明確な数字を出せるよう取り組んでいく。

◆自主防災組織の育成

〔加藤議員〕28年度、新たに立ちあがった組織はあるか。
〔総務課参事〕毎年、1〜2件程度が立ちあがっている。



地域を守る防災活動（安原）

討 論

●反対

【大森議員】同和対策は、国を挙げての事業によって、解消が大きく進展した。生活環境は改善され、社会問題として基本的には解決されたと言っている。

退休寺への観光客は少なく費用対効果に疑問がある。町道退休寺線は、不要不急の道路ではないか。

次に町道人権交流センター線に関しての不適切な事務処理について、工期に虚偽があった決算を認定できない。

●賛成

【門脇議員】不適切な事務処理について、町長は率直に事実を認め陳謝するとともに、事務改善と再発防止を約束

した。議会としても事務事業の執行に対し、付帯意見、そして再発防止に向けた決議も行う。厳正な事務処理と運営を行い、町民福祉が増進することを期待し、認定すべきである。

●反対

【野口昌議員】昨年から職員による不祥事が続いている。工期に関する事務処理が不適切であると知りながら認定することはできない。

間違いを正し、町民福祉のためにしっかりと仕事ができる、新しい大山町をつくらなければならぬ。

●賛成

【近藤議員】今後、不適切な事務が起らないよう、その徹底を執行部に対して求める決議もするところである。年度末の道路工事につ

いての不適切な事務処理は、前執行体制での指示で行われたことである。このようなことが二度と起こらないよう、強く決議で求め、認定すべきと考える。

●反対

【加藤議員】道路の改良工事について完成日・検査日を偽って決算審査資料を提出している。工事が年度内に終

わりそうにない場合、繰越明許の手続きをとること。そうなった時に早急^{※2}に事故繰越^{※1}で対応することである。繰越の手続きをとり4月早々に議会に報告するべきであった。間違っ

た事務処理、会計処理が行われた決算を認定すべきではない。

●賛成

【大杖議員】全体的に見て住民福祉や来年度の

開山1300年を迎える、大事な節目の観光振興に取り組み充実した決算であった。不祥事があったことは事実であるが、大切なことはミス^{※1}を素直に認め、どう改善するかが課題である。決議案を提出することで、執行部に反省と改善を求め認定すべきである。

●賛成

【岡田議員】教育環境・農林水産業の振興、その他生活に関するさまざまな事業が行われ、住民福祉の向上に寄与している。不適切事務については、改善策も練られ対策も行われている。不認定というの

は町長に対する不信任であり、本町にとって何が有益かを考えて判断すべき。

住宅新築資金等貸付事業決算

同和対策事業の一環として、住環境改善のために新築・改築などが行われた際の資金の貸付事業である。

討 論

●反対

【大森議員】不適切な貸付が原因で返済が困難な人たちを生み出し、行政への滞納金が28年度総計で約2億9千万円ある。滞納解消の目処が立たない会計は認められない。

●賛成

【加藤議員】過去の古い事業について決算でつづべきところではない。予算のとおり事業を執行されている。滞納解消に向け担当課も努力しており、認定すべきと考える。

※1 繰越明許とは

当該年度内に事業完成が困難と予想される場合に、財源を翌年度に繰り越して事業の実施を行うもの。

※2 事故繰越とは

繰越を予想されなかった事業が、避けがたい事情のために、やむを得ず年度内に事業が終わらない場合になされるもの。



質疑

一般会計補正予算

◆通学費助成

公共交通機関を利用して通学する生徒の保護者に対して定期乗車券などの購入に要する経費を支援するもの。

〔門脇議員〕事業に対して求める成果の指標と財源は。

〔町長〕移住定住策としてやっていくもの。具体的な数字は決まっていないが、移

住定住にどの程度結びついたかチェックしていきたい。財源は一般財源で対応する。

〔大森議員〕町民が喜ぶものは優先して予算化するべき。将来的に全額助成の考えは。

〔町長〕現在のところ全額助成の考えはない。



学生の通学支援はじまる

◆学校施設整備費

〔野口俊議員〕国庫補助金が計上された。どのような状況でこ

うなったか。〔幼児・学校教育課長〕今年度学校施設の整備費を6月補正では

た。8月に国からの補助の内定があったと県を通じて連絡があった。過疎債であ

った。過疎債をその分減額し、補正予算で計上した。



空調が新設される中山中学校

◆保育所修繕費

〔加藤議員〕修繕料の内容は。

〔幼児・学校教育課長〕大山きやらぼく保育園の年中クラスの教室にパー

テーションを設置する259万2千円と、大山保育所のガス給湯器買い替え17万2千円である。

◆園芸産地活力増進事業

認定農業者に限らず、新規品目や新たな技術の導入に対し、支援する事業である。

〔大原議員〕県の事業だと思いが内容がわかりにくい。具体的な内容は。また認定農業者限定の事業か。〔農林水産課長〕ハウス整備など4件の活用があった。自然

薯の栽培に取り組まれている人が新たに杭打機を整備される。認定農業者に限定した事業ではない。技術的導入に対し支援するものである。



補助金で新設したハウス